

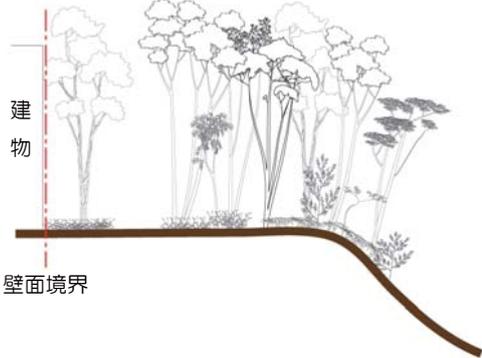
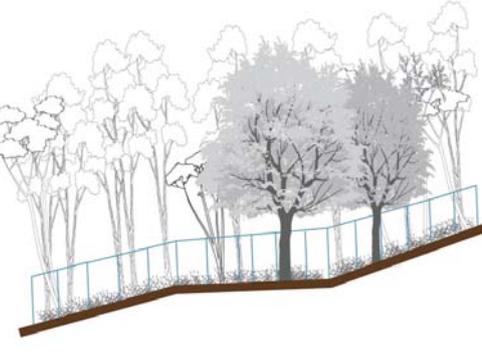
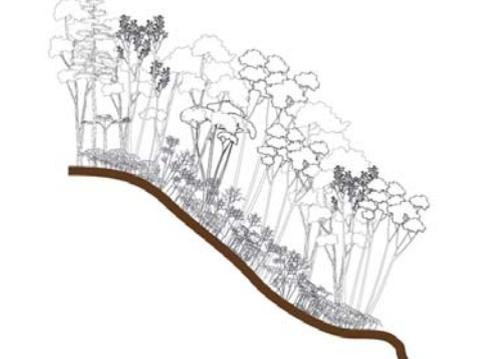
### 3. 保安全管理計画

#### (1) 保安全管理の基本的な考え方

現在の樹林を自然の遷移に委ねた場合、潜在自然植生であるシイ・カシ類の常緑広葉樹林となっていくため、コナラを中心とした落葉広葉樹林を永続的に維持していくには相応の管理が必要となります。現在の樹林を永続的に維持するための管理は、都市型の斜面樹林では特に重要であり、人為的に次世代の後継樹を育てていくことが肝要となります。

- ・危険樹木伐採により高木層に空間ができた箇所では、コナラ、クヌギ、ケヤキ、イヌシデ、エゴノキなどの後継樹の稚樹や低木を選択的に残して成長を促すよう配慮します。
- ・スダジイ、シラカシなどの常緑樹の高木・亜高木は現状のままとしますが、稚樹や実生は除伐します。
- ・樹林構成種の多様性に配慮し、コナラ、クヌギといった優占種だけでなく、エノキ、イヌザクラ、ウワミズザクラなどの郷土種をはじめ、多くの樹種にも注目して育成します。
- ・都市型樹林としての景観要素も考慮し、樹林内に生育するサクラ類やコブシ、ツツジなどの高木、中低木は選択的に残します。
- ・育成管理を永続的な活動とするため、行政と市民が協力して管理していく組織づくりを検討します。

#### ■地区別の将来像

地区	区域図	イメージ	将来像
西地区			<ul style="list-style-type: none"> <li>・スダジイやシラカシ、コナラ、クヌギ、イヌシデ等が混生する常落混交林で構成されており、斜面が安定し林床の植生が豊かで、動植物の生育・生息環境が維持されている健全な樹林。</li> </ul>
南地区			<ul style="list-style-type: none"> <li>・コナラ、クヌギなどの落葉広葉樹林やススキやチガヤなどの在来種の草地で構成されており、鳥類や草地性の昆虫などが観察できる樹林。</li> </ul>
東地区			<ul style="list-style-type: none"> <li>・コナラを主構成種とする落葉広葉樹林で、動植物の生育・生息環境が維持されている多様な環境の樹林。</li> </ul>

## (2) 樹林・林床・施設に関する管理計画

### 1) 樹林管理計画

#### ①樹林管理の基本的な考え方

- ・動植物の生育・生息環境の保全および周辺居住者の安全を確保するため、計画的に樹林管理を行います。
- ・地域の生物多様性保全の拠点として、現地調査によって確認された、アオゲラ、エナガ、カブトムシなどの樹林生の生物などが生息できる、植生環境を維持します。

#### ②管理内容

- ・危険樹木の伐採を中心に樹木の調整伐採を行います。
- ・再生の見込みのない不良木（枯死木）は、伐採するとともに、越境した枝などは適宜剪定を行います。
- ・危険樹木の多くは木材腐朽菌や根株腐朽菌等に罹病しているため、他樹木への感染防止を目的に、伐採した樹木は場外搬出を原則とします。  
但し、場外搬出が困難な場合は、玉切りし、専門家立会のもとに燻蒸処理します。
- ・危険樹木の伐採の優先順位は、①枯死木、②不良木（なんらかの処置をしないと回復の見込みが低いもの）、③やや不良な樹木（今後活力の低下が予想されるもの）の順番とします。なお、不良木とやや不良な樹木については、樹体の腐朽や裂傷などの進行を遅らせるために、枯れ枝や腐朽箇所をの切除等を随時実施します。
- ・優良木を保護するため、樹木を覆っているフジ、クズ等のつる植物に対しては、つる切りを行います。

#### ■玉切り事例



玉切り事例写真：西地区内伐倒済み玉切り材

### ③樹木衰退度評価と危険樹木の伐採順位



衰退度評価図

#### 衰退度評価と危険樹木伐採の順位

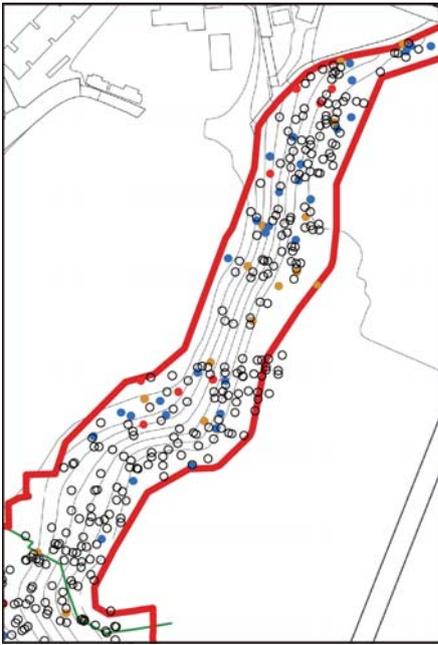
- 伐採優先度 1 : C (枯死)
- 伐採優先度 2 : B2 (不良)
- 伐採優先度 3 : B1 (やや不良)

※危険樹木の伐採の優先度は、C (枯死)、B2 (不良)、B1 (やや不良)の順位とし、B2、B1については樹体の腐朽や裂傷などの進行を遅らせるため、枯れ枝や腐朽箇所切除等を随時実施します。

※地区別の順位は①西地区、②南地区、③東地区の順とします。

項目	衰退度				総計 (本)
	A (健全)	B1 (やや不良)	B2 (不良)	C (枯死)	
西地区	230	30	13	9	282
南地区	199	5	4	2	210
東地区	484	9	9	13	515
総計	913	44	26	24	1,007

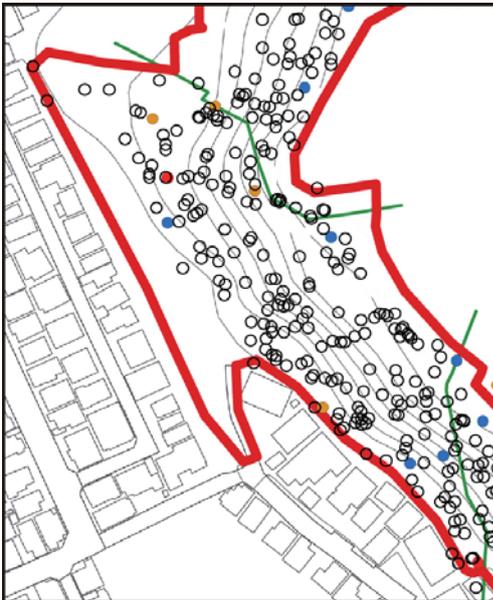
■西地区



項目	衰退度				総計 (本)
	A (健全)	B1 (やや不良)	B2 (不良)	C (枯死)	
西地区	230	30	13	9	282

凡例 ○ ● ● ● ●

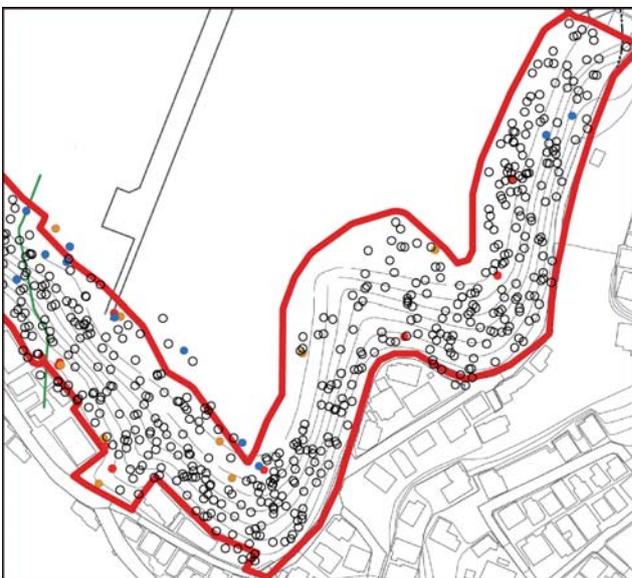
■南地区



項目	衰退度				総計 (本)
	A (健全)	B1 (やや不良)	B2 (不良)	C (枯死)	
南地区	199	5	4	2	210

凡例 ○ ● ● ● ●

■東地区



項目	衰退度				総計 (本)
	A (健全)	B1 (やや不良)	B2 (不良)	C (枯死)	
東地区	484	9	9	13	515

凡例 ○ ● ● ● ●